



2024 年度 アンケート調査レポート

ひばりが丘エリアマネジメントの現状・課題・可能性

2025 年 8 月

一般社団法人 まちにわ ひばりが丘

協力：東京工芸大学 森田芳朗研究室、 横浜国立大学 江口亨研究室

ひばりが丘エリアマネジメントの現状・課題・可能性

0.アンケート調査の目的・方法と回答者の概要 p.3

1. まちにわ ひばりが丘の認知度と活動への賛同 p.5

2. イベントへの参加状況 p.6

3. ひばりテラス 1 1 8 の利用と場としての認識 p.7

4. 地域のつながり p.9

5. まちにわ ひばりが丘の地域での役割 p.9

6. 意見・感想、アイデア p.11

7.まとめ p.13

.

.

まちにわ ひばりが丘（以下「まちにわ」）の活動が地域の居住者にどう受け止められ、どのような効果を生んでいるのか、また、今後の活動のなかでどのような課題が存在し得るかを明らかにするために、2015 年度からアンケート調査を実施しています。このレポートでは、2024 年度の調査結果を報告します。

0-1.アンケート調査の方法

た「1 番街」「2 番街」「けやき」「シティテラス」「プレミスト」「シーズンビュー」「セキユレア」の7 街区をまとめて「分譲」という)の居住者を対象にアンケート調査を実施しました。

各住戸ポストへの調査票投函により配布し、マンション管理事務室ポスト、パークヒルズ管理事務所への持参、郵送、オンラインのいずれかで回収しました。回収状況を表0に示します。時期は2025年1月~2月です。

街区	配布	回収	回収率
ひばりが丘フィールズ 1 番街	144	41	28%
ひばりが丘フィールズ 2 番街	156	40	26%
ひばりが丘フィールズけやき通り	119	49	41%
シティテラスひばりが丘	343	115	34%
プレミストひばりが丘	206	56	27%
プレミストひばりが丘シーズンビュー	140	48	34%
セキュアガーデンひばりが丘	79	32	41%
不明	-	19	-%
(分譲 計)	(1187)	(400)	(34%)
UR	1439	267	19%
合計	2626	667	25%



0-2.回答者の概要

図 0-2～図 0-6 に、回答者の性別、年齢、職業、家族構成、ひばりが丘での居住年を示します。性別は全体では男性 4 割、女性 6 割弱でした。

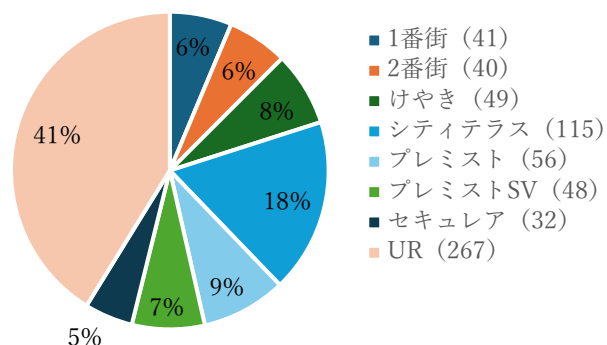


図 0-1 回答者の住まい

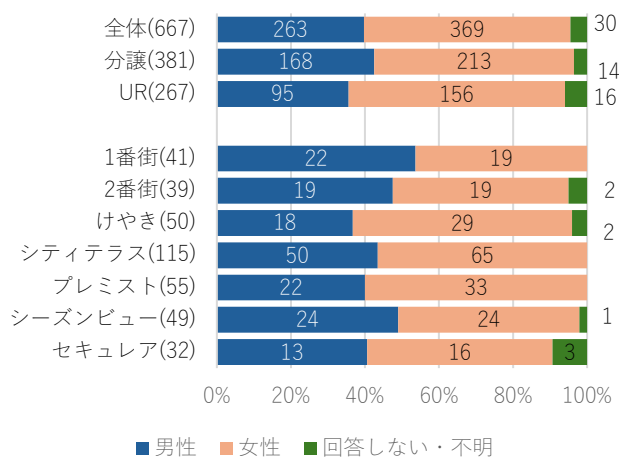


図 0-2 回答者の性別

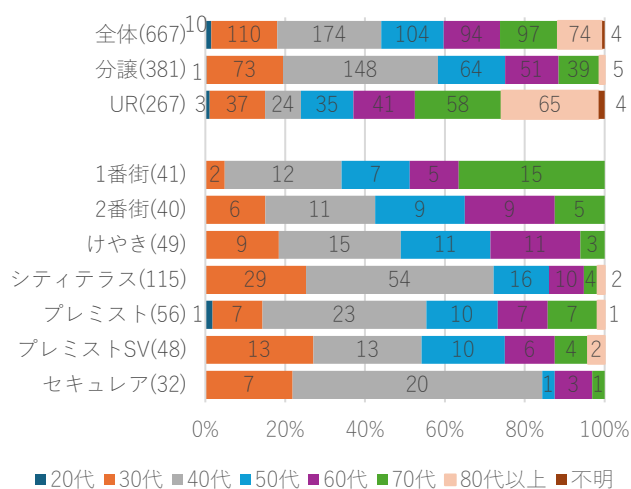


図 0-3 回答者の年齢

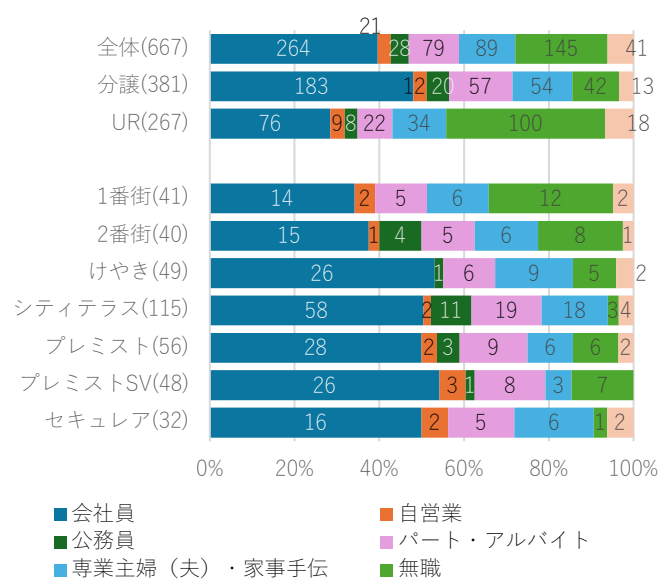


図 0-3 回答者の職業

年齢は全体では 40 代が最も多いです。分譲では 40 代が最も多く 4 割近くを占め、次いで 30 代、50 代が 2 割弱です。分譲街区別では分譲時期が早いほど年齢が高くなる傾向があります。UR では 80 代以上が最も多く、70 代と 80 代以上で約 5 割です。

職業は分譲では「会社員」が最も多く、UR では「無職」が最も多いです。

家族構成は、分譲では「親と子（未成年の子がいる）」が最も多く 6 割弱、UR では「一人暮らし」が最も多く 4 割弱です。

ひばりが丘（ひばりが丘団地エリアおよび周辺）での居住年数は、分譲街区でマンション・戸建て住宅の築年数より長い 12 年以上の回答者がみられます。UR では 12 年以上が 4 割以上で多くの人がマンション建築の前から居住しています。

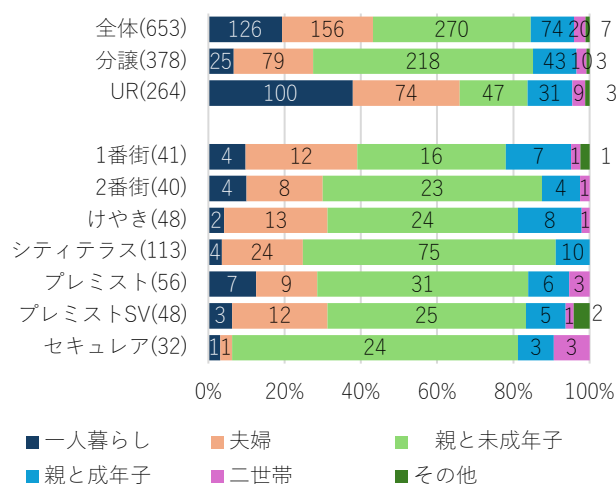


図 0-5 回答者の家族構成

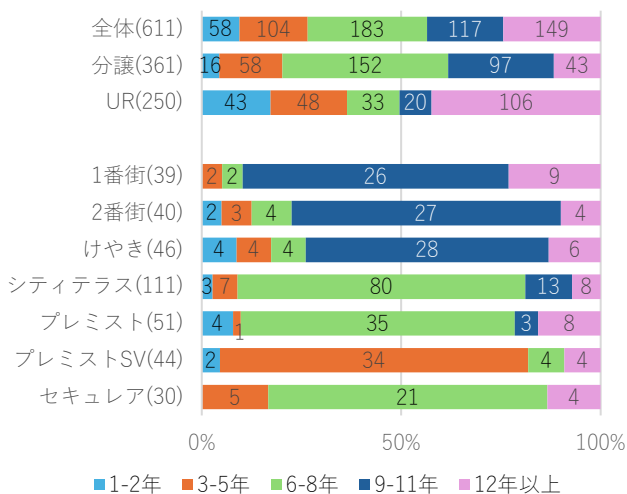


図 0-6 回答者のひばりが丘での居住年数

1. まちにわ ひばりが丘の認知度と活動への賛同

まちにわの存在と活動をともに「知っている」のは分譲街区で約7割、UR街区で約4割、全体では約6割です。「存在は知っているが、活動はよく知らない」のは分譲で2割強、URで3割強、全体で3割弱です。URでは2割の人が「存在も活動もよく知らない」と回答しました（図1-1）。まちにわの活動に賛同するかは分譲ではおよそ9割、URでは6割以上が「賛同する」と肯定的です（図1-2）。

まちにわの存在と活動をともに「知っている」人の割合と、まちにわの活動への変化を図1-3、図1-4にまとめます。一部の街区をのぞき前回2022年より認知度は上がっています。賛同の変化では、セキュレアが前回の9割以上から7割強に下がりました。

まちにわの存在と活動をともに「知っている」回答者が活動の趣旨に賛同するかどうかでは、分譲、URともに9割以上が「趣旨に賛同する」としており、「どちらともいえない」はいずれも約6%、「趣旨に賛同しない」はわずかです（図1-5）。

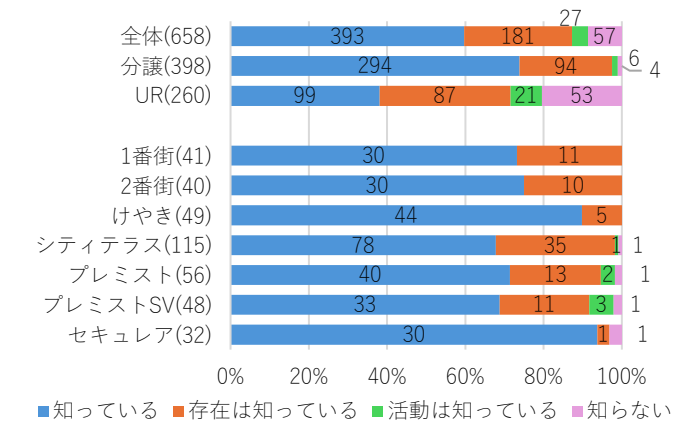


図1-1 まちにわ ひばりが丘の認知度

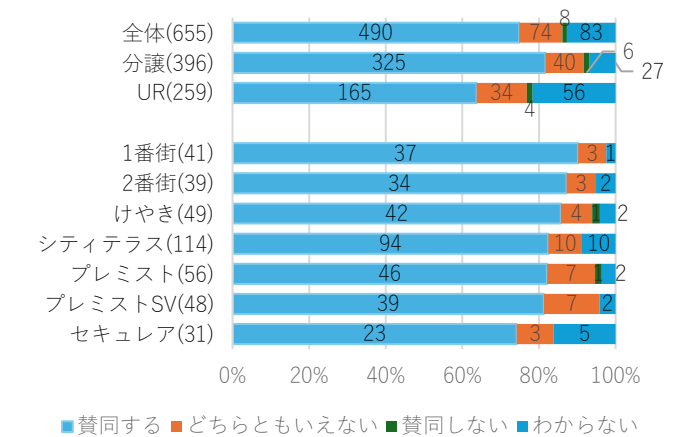


図1-2 まちにわ ひばりが丘の活動への賛同

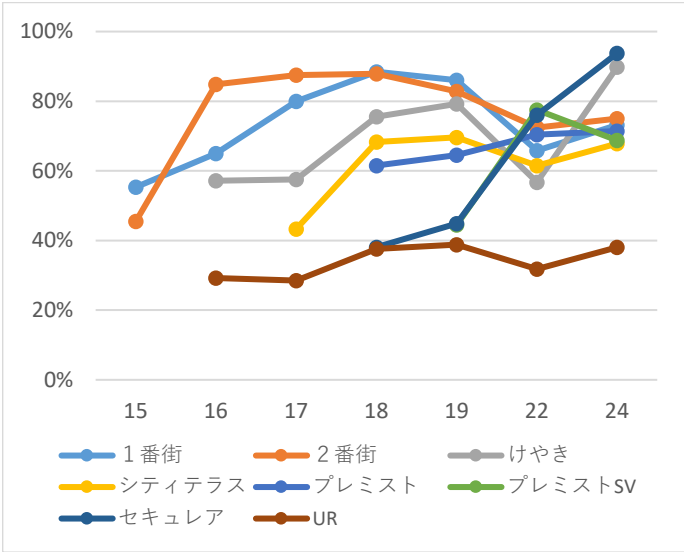


図1-3 まちにわの認知度の変化

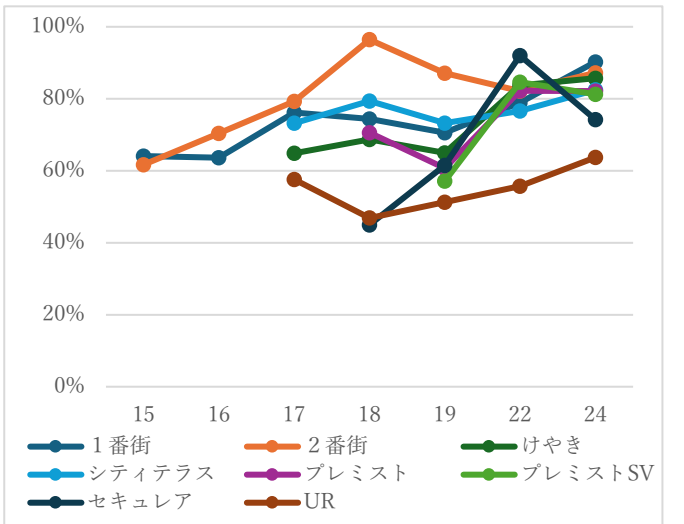


図1-4 活動への賛同の変化

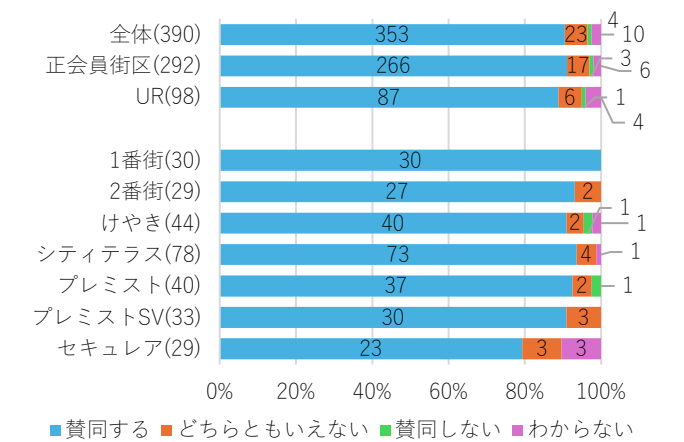


図1-5 活動への賛同（存在も活動も知っている回答者）

2. イベントへの参加状況

この一年間にまちにわ ひばりが丘の関係するイベントに参加したことがあるかどうかで「参加したことがある」のは分譲で約6割、URで3割強、全体ではおよそ半数です。街区別ではけやき通りとセキユレアでイベントの参加が多いです（図 2-1）。

参加したことがない理由は全体では、「関心はあったが日程などの都合で参加できなかった」が最も多く、次いで「開催を知っていたが関心がなかった」が多いです。UR では 1/4 が「開催を知らなかった」としている。また分譲では街区によって違いがあり、1番街、2番街、けやき通りでは「開催を知らなかった

た」回答者は無かったが、プレミストでは 1/4 が知らなかったとしている（図 2-2）。

参加したイベントを複数回答でたずねると、全体では「にわマルシェ」が最も多く7割弱、次いで「にわジャム 2024」で6割弱が参加しています。分譲では「にわジャム 2024」が最も多いです。パークヒルズ自治会と連携して開催した「さくらまつり」「秋まつり」「餅つき大会」は分譲で約3割、UR ではさくらまつりに5割、秋祭りに4割、餅つき大会には3割の人が参加しました（図 2-3）。

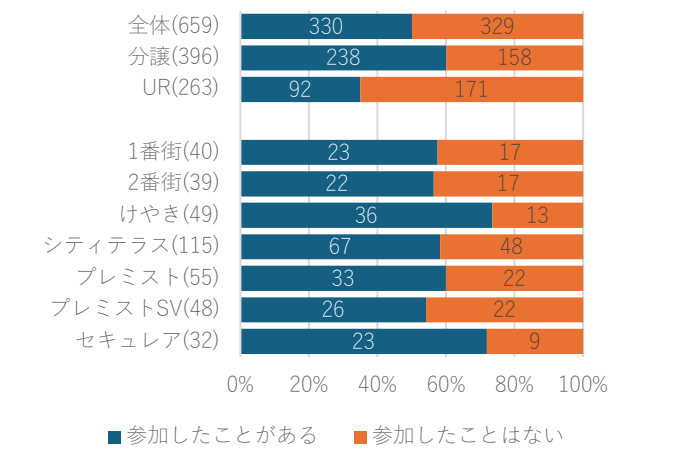


図 2-1 1 年間のイベント参加

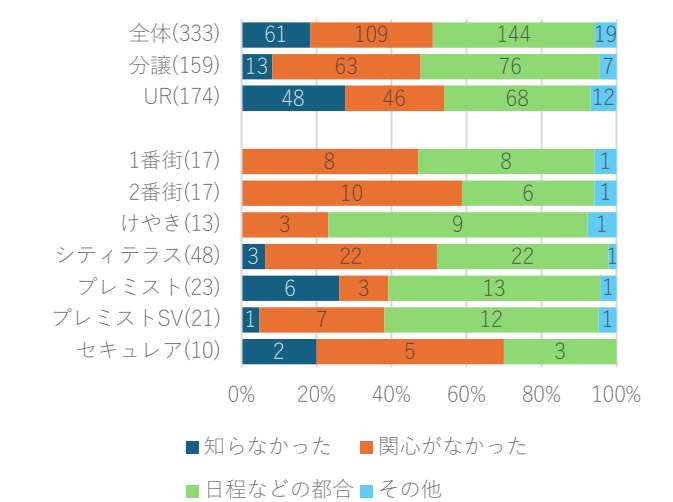


図 2-2 イベントに参加しなかった理由

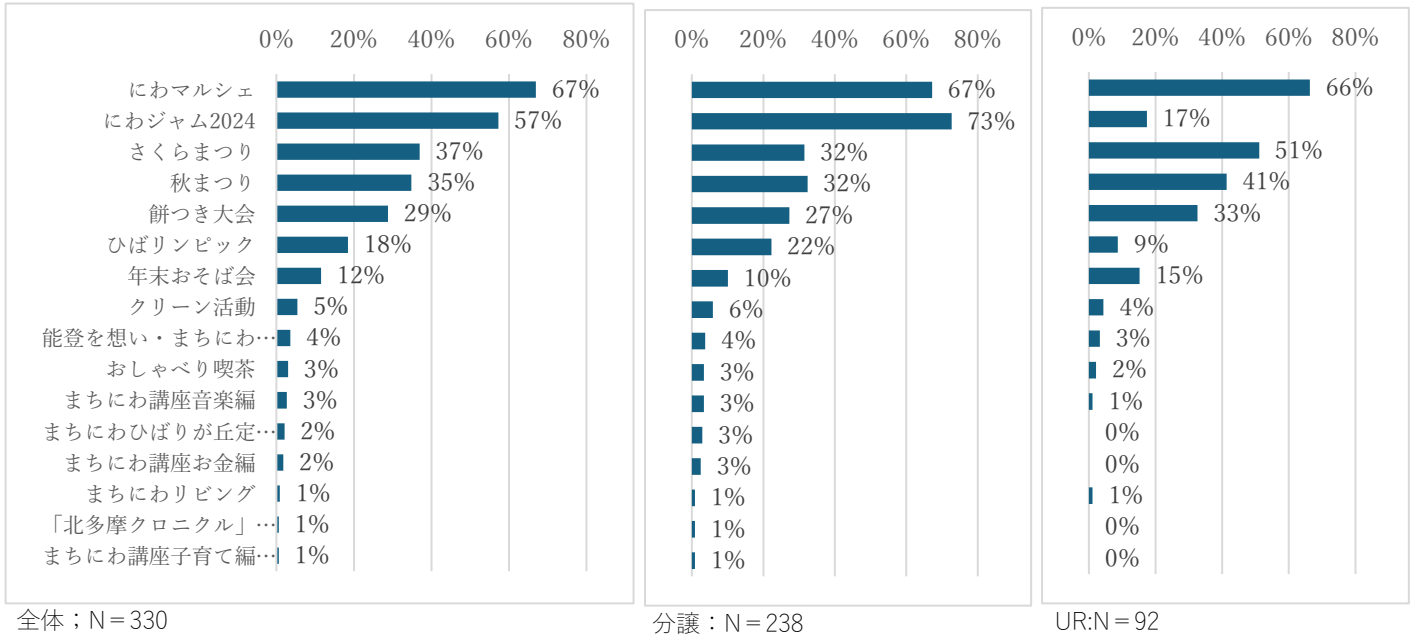


図 2-3 1 年間のイベント参加者の参加イベント・複数回答

3. ひばりテラス 1 1 8 の利用と場としての認識

この一年間に自身や家族がひばりテラス 118 を利用したかについて、①レンタルスペース（代表者として申し込んで）、②レンタルスペース（教室の生徒・イベントの参加者等として）、③手しごとのお店 HACONIWA（買い物）、④カフェ COMMA,COFFEE、⑤フラワーショップ風葉花、⑥キッチンカー、⑦ふらりと立ち寄る、⑧その他について、それぞれ見てみます（図 3-1～図 3-7）。

レンタルスペース（代表者として申し込んで）の利用は全体で約 5 %です。レンタルスペース（教室の生徒・イベントの参加者等として）は全体で 15%です。街区別で利用の割合が最も高いのはセキュレアで 4 割、次いでけやき通りで 1/4 です。UR では約 3 割が「あることを知らない」と回答しています。

HACONIWA は全体で 1 割の人が利用し、2 番街とけやき通りでは 2 割弱の人が利用しました。

カフェは分譲、UR とともに 4 割近くの人が利用しています。最も利用率が高いのはけやき通りで半数以上が利用しました。

フラワーショップは全体では 3 割、分譲は 3 割強、UR は 2 割の人が利用しました。最も利用率が高いのはセキュレアで 6 割弱、次いでプレミスト SV が 4 割強でした。

キッチンカーは全体では約 4 割、分譲で 5 割近く、UR では 1/4 が利用しました。最も利用率が高いのはけやき通りで 6 割強でした。ふらりと立ち寄ったことがあるのは、全体では 4 割弱、分譲 4 割、UR は 3 割です。最も割合が高い街区はセキュレアで 6 割弱の人が立ち寄っています（図 3-）。その他の回答では、「子どもの散歩コース」「コピー機の利用」「粗大ごみ券購入※」などがありました。（※調査時、東久留米市の取り扱い中）

ひばりテラス 118 がどういう場であると感じるか、また今後どういう場になってほしいかを、①交流の場、②憩いの場、③見守りの場、④趣味の場、⑤情報発信の場、⑥学びの場、⑦相談ができる場、⑧買い物の場、について複数回答でたずねました。現在を現状認識、今後を期待として示します（図 3-8）。分譲街区、UR 街区いずれも「交流の場」「憩いの場」と認

識、期待する人が多いです。「見守りの場」「相談できる場」は、認識に比べて期待が大きいです。

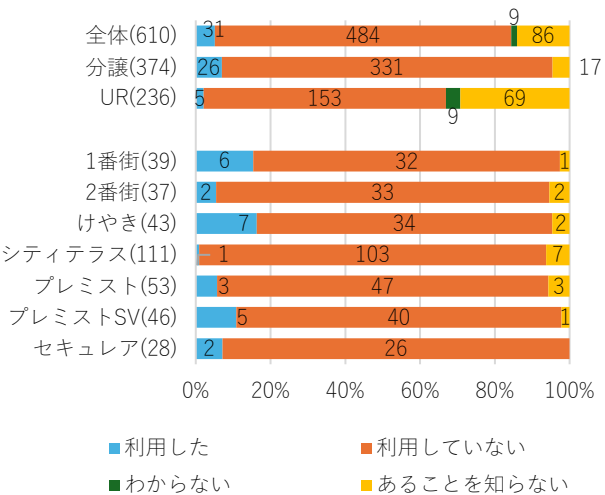


図 3-1 1 年間のレンタルスペース利用（代表者として）

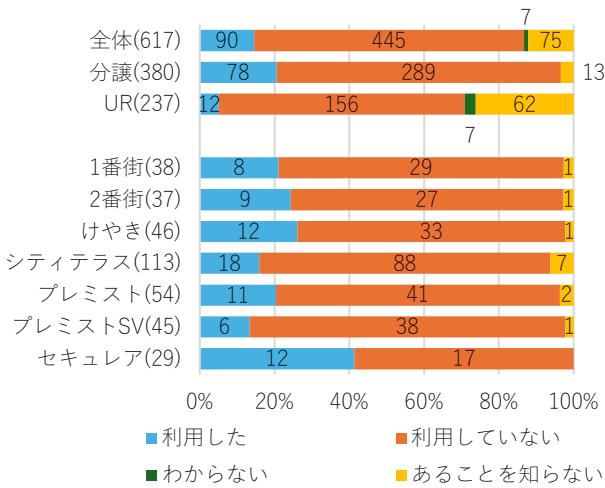


図 3-2 1 年間のレンタルスペース利用（参加者として）

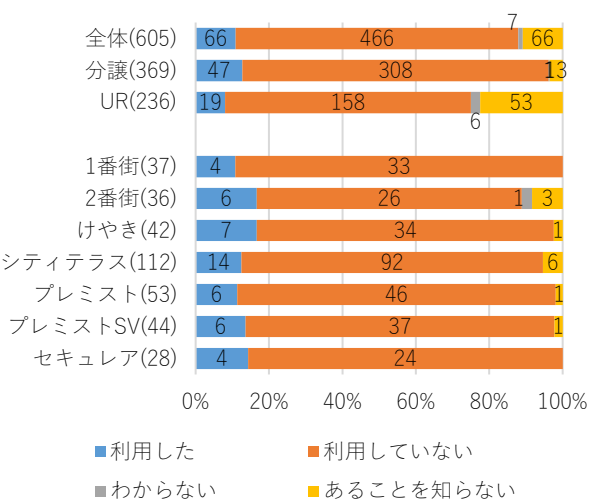


図 3-3 1 年間の HACONIWA の利用

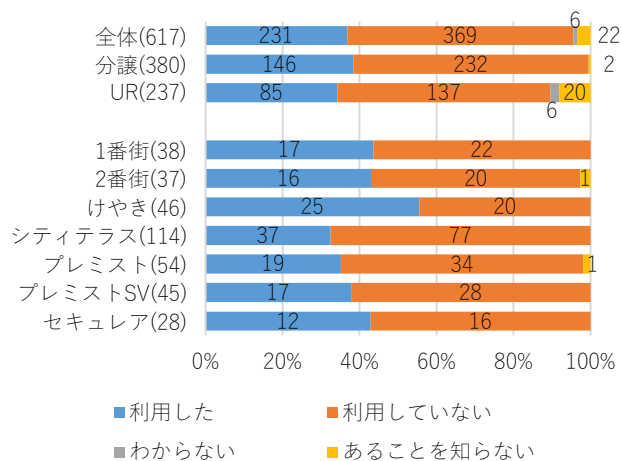


図 3-4 1 年間のカフェの利用

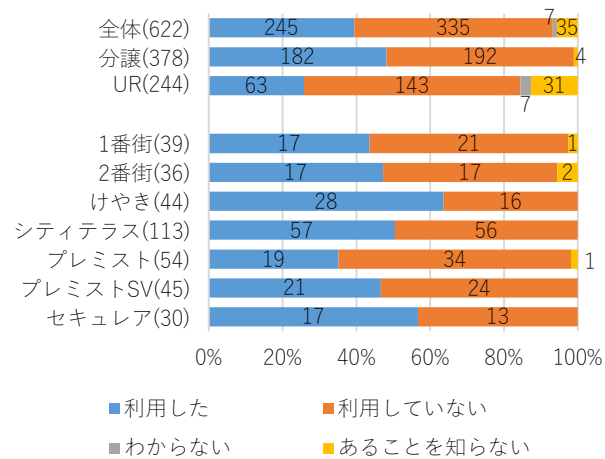


図 3-6 1 年間のキッチンカーの利用

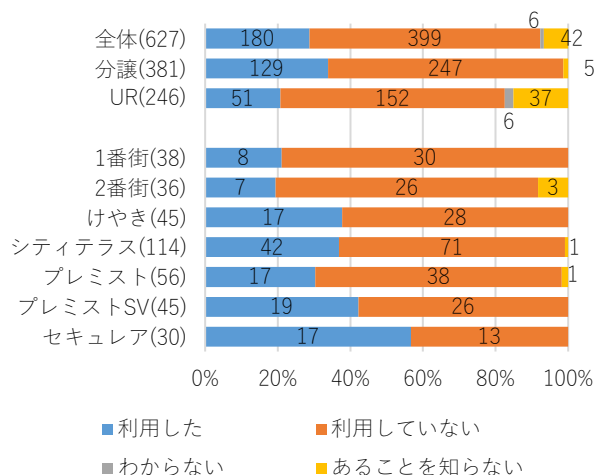


図 3-5 1 年間の花屋の利用

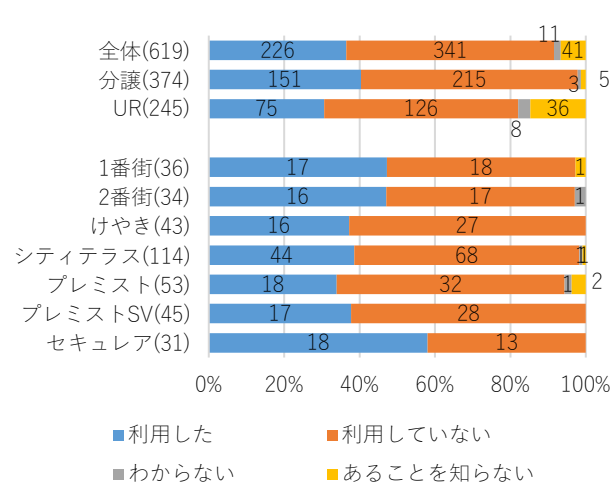


図 3-7 1 年間に「ふらりと立ちよる」

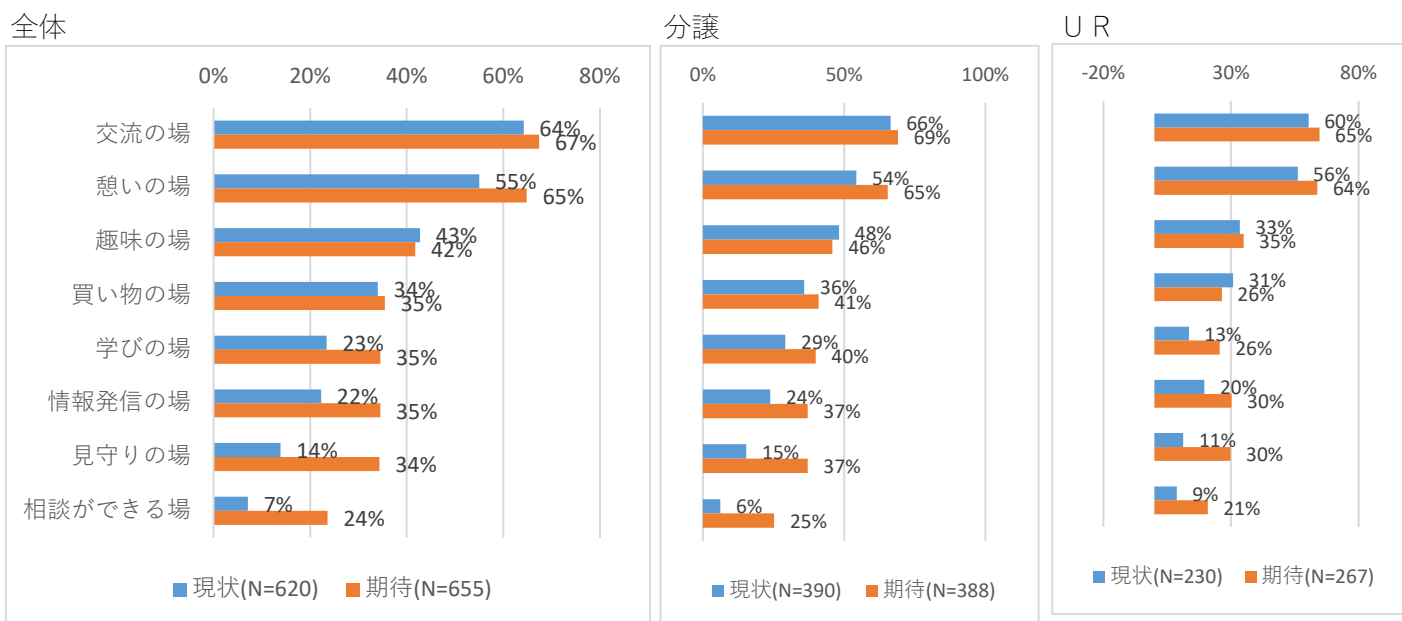


図 3-8 ひばりテラス 118 の現状認識と今後の期待

4. 地域のつながり

この1年間に、まちにわ ひばりが丘やひばりテラス 118 での交流によって、「顔見知り、親しく話をする人、頼み事が出来る人」が、同じ街区内、ひばりが丘団地エリア内、団地エリアの外についてそれぞれ増えたかどうかを見ます（図 4-1～図 4-3）。同じ街区でのつながりは、分譲で 1 割が「増えた」としており、けやき通りでは 3 割の回答者が「増えた」としています。ひばりが丘団地内でのつながりは、分譲では 1 割強が「増えた」としています。団地エリア外とのつながりは街区内や団地内に比較して増えていません。

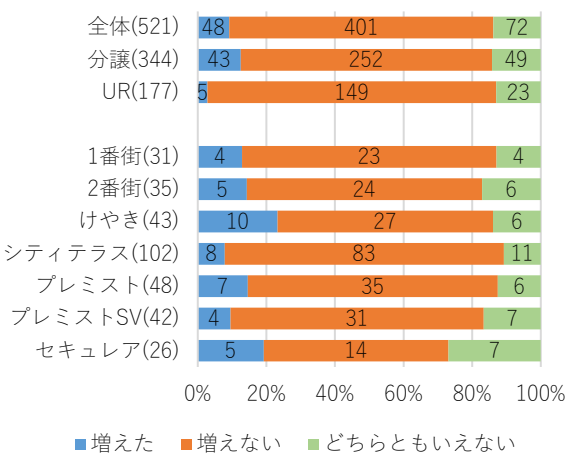


図 4-2 地域のつながりの変化（団地エリア内）

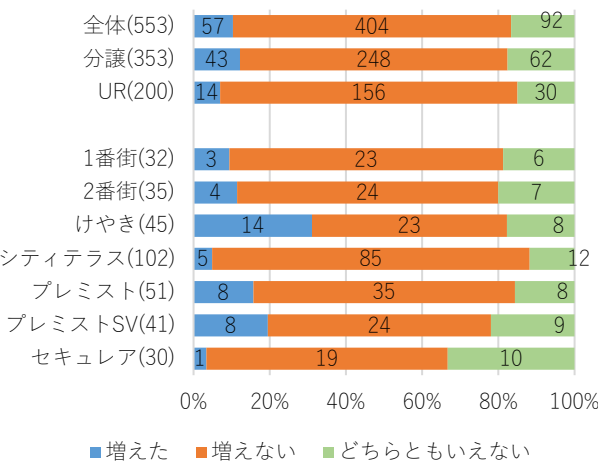


図 4-1 地域のつながりの変化（同じ街区）

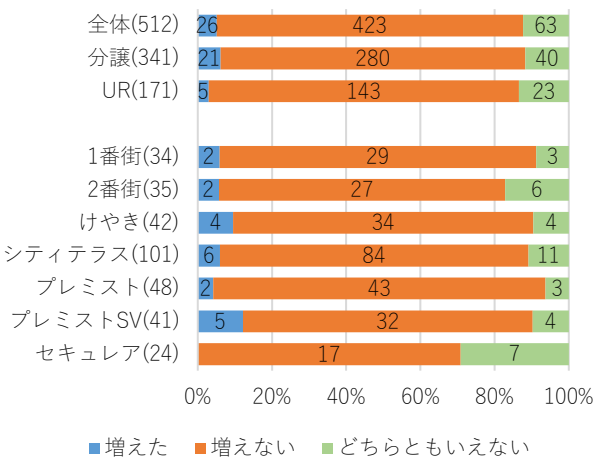


図 4-3 地域のつながりの変化（団地エリア外）

5. まちにわ ひばりが丘の地域での役割

まちにわ ひばりが丘は、地域でどのような役割をすると認識されているのかを、①まちにわ ひばりが丘やひばりテラス 118 があることは地域や街区内の安心・防災防犯に役立つかどうか、②まちにわの活動強化について、③情報発信についての質問からみてみます。

地域や、住んでいるマンション（UR はひばりが丘パークヒルズ）内の安心や防災防犯に役立つかどうかをたずねました。地域の安心・防災防犯では、分譲、UR とともに約 7 割が「強くそう思う」「まあまあそう思う」としています。街区内に関しては、分譲で約 6 割

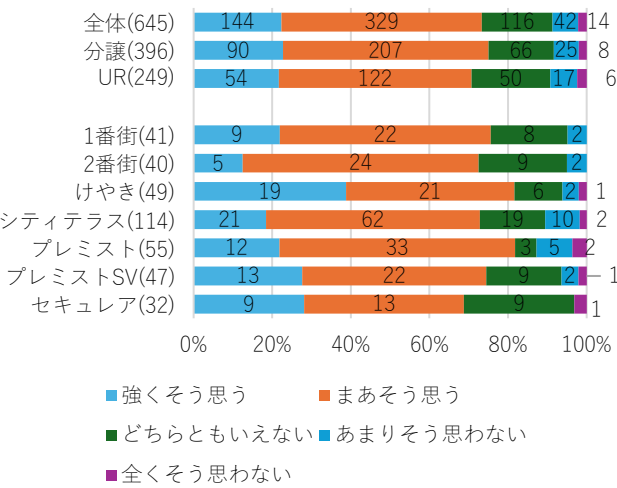


図 5-1 地域の安心、防災防犯に役立つか

となり、街区内よりも地域での安心により役立つと考えられています（図 5-1.5-2）。

まちにわひばりが丘の活動で、より強化した方が良いと思うものについて複数回答でたずねました。①ひばりが丘団地エリア内のマンション同士の連携、②ひばりが丘団地エリア内のマンションと UR 団地自治会の連携、③ひばりが丘団地エリア内とエリア外の団体、組織、行政との連携、④まつり等のイベント主催、⑤講座などの主催、⑥住民や住民グループの「やりたいこと」の支援（イベント、ビジネス、自己研鑽など）、⑦求めるものはない、のうち全体および分譲街区では、まつり等イベント開催が最も多く回答者の4割強が選択しています。UR では、団地エリア内マンションと団地自治会の連携を選択する回答者が最も多いです。また、「求めるものはない」の選択も約1割みられました。

まちにわかからの情報をどこから得ているかを複数回答で尋ねると、全体では「イベント等の案内チラシ」

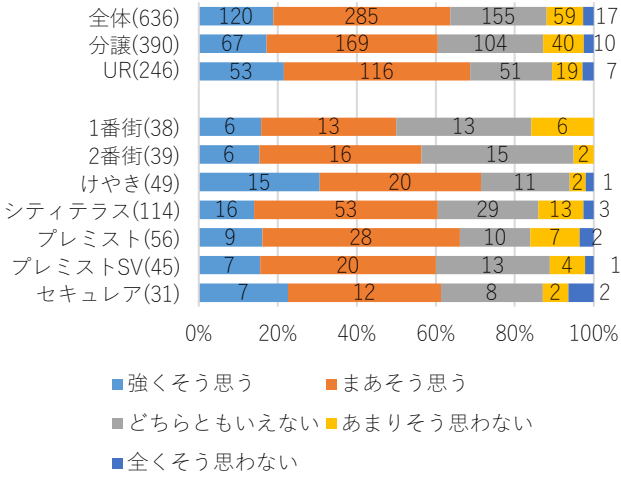


図 5-2 マンション内の安心、防災防犯に役立つかが最も多く、分譲では「まちにわ通信」が多いです。「情報が届いていないとする回答者は、分譲で1割、URで1割弱でした（図 5-4）。

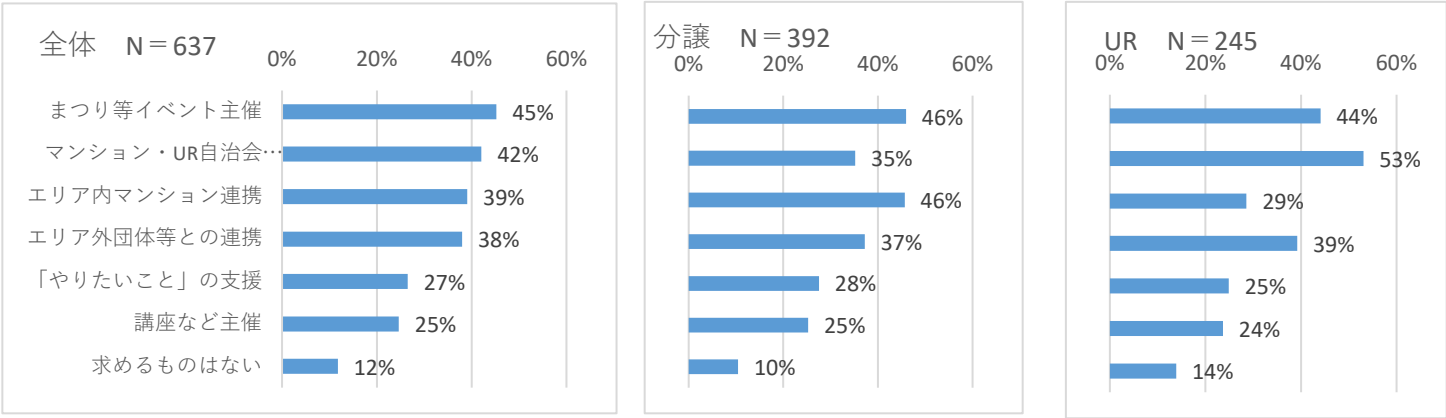


図 5-3 より強化してほしい活動（複数回答）

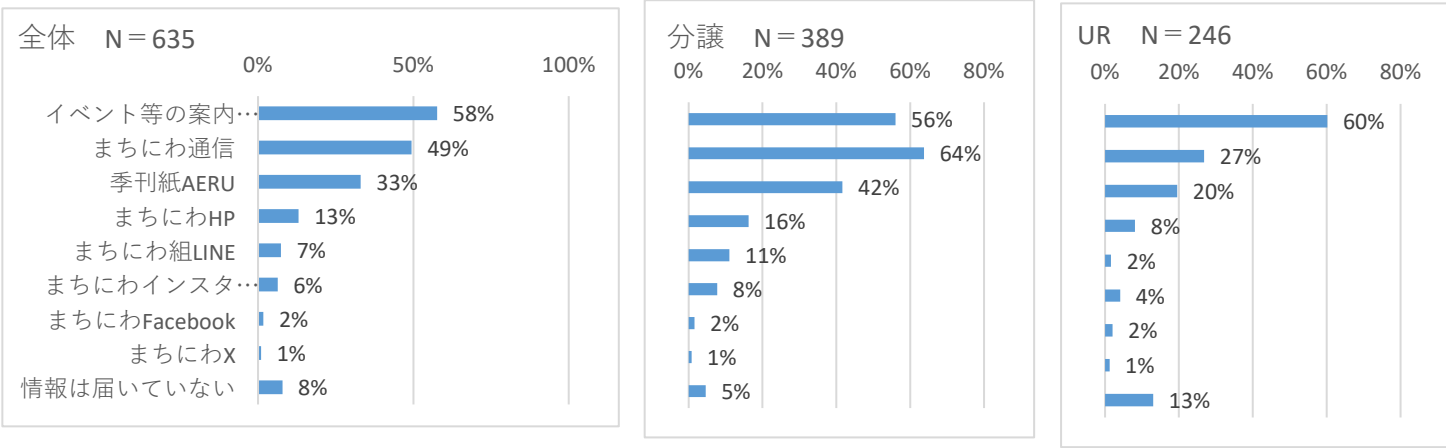


図 5-4 届いている情報（複数回答）

まちにわひばりが丘の情報発信に対する満足度をたずねました。「満足」「どちらかといえば満足」と回答したのは、分譲で5割、URで約3割でした（図5-5）。

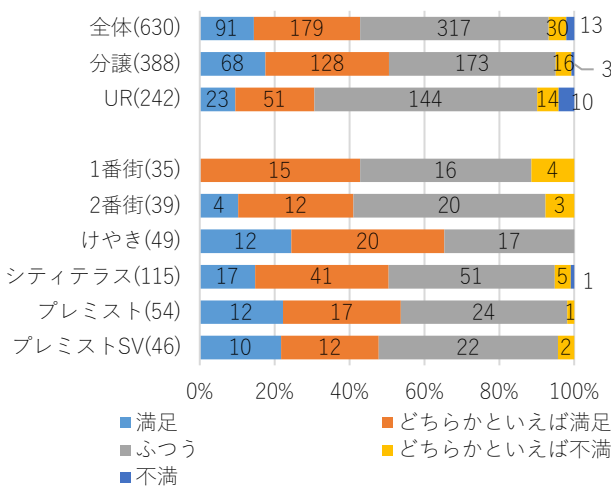


図5-5 情報発信に対する満足度

6. 意見・感想、アイデア

自由記述欄に頂いたご意見、感想、アイデアです。（抜粋）

自由コメント	年齢
フリーマーケットがあると嬉しいです。	30代
イベントの開催など街が活気付いていいと思います！ その一方で、駐車禁止の場所に駐車していたり、ポイ捨てされたりと気になることもあります。	30代
改めてのマンション内交流会(入居当初やったやつ)の企画、運営	30代
いつも素敵なイベントを色々と企画していただきありがとうございます。フリーマーケット、子どもが主体となることができる事、ボランティア活動（老人ホーム）、等あったら参加してみたいです。高齢者と子どもの関わりを気軽にできる場所や機会が多くあるといいと思います。	30代
・理事会コミ担きっかけで、まににわのイベント参加でご近所さんにたくさんの知り合いが増えました。また、イベント企画参加なので自分自身のリフレッシュだったり地域との関わりを持てることがとても嬉しいです。これからも参加して行きたいので、どうぞよろしくお願いします！ ・去年はひばりテラスでの夏期間の花火利用のイベントが無かったので、今年の夏はまたあると嬉しいです^^	30代
にわマルシェ等のテラスでのイベント出店者が毎回似たような感じで変わり映えがない。回ごとにもっとテーマ性を設ける等して飽きさせない工夫があるといいと思いました。 餅つき大会やハロウィンのイベントなどはとても楽しめたので継続して欲しいです。	30代
おまつり楽しく参加させています。ありがとうございます。メモリアル広場は団地の住居に近すぎて、和太鼓の音などが響き、子どもの昼寝に支障があるので、たんぼ広場やひばりテラスで開催してほしいです。	30代
引っ越してきたので、レンタルスペースが利用できることなど知らないため、年に1回くらいどんな事業を行っているか案内してほしい	30代
いつも、お疲れ様です！なかなか足を踏み入れないと店の雰囲気も分からないと思うので、イベントの際に風葉花やコンマに入りやすい何かキッカケ作りの様なことができたかなと思います。	30代
まちにわ講座お金編をまたやってほしい。土日休みでないのでイベントがあっても参加が難しい。平日開催のものがあると良い。イベントの告知を2ヶ月ほど前にしてくれると参加しやすい。子育て世帯中心のイベントになるのは仕方ないが独身者の自分にとっては参加しづらいものも多い。	30代
まちにわ通信が配布されるタイミングが遅いと思います。キッチンカーのスケジュールを主にチェックしたいので、前月末には欲しいです。	30代
災害のときの備えについて具体的な想定があるといいと思います。一般的には避難場所(学校など)にいくと思うのですが、ひばりテラスでもいいのか？何を期待していいのか？よくわかりません。あともし可能ならペットの対応があるととても心強いです。	30代

毎月 300 円払っている分の価値を授受できていない。お金を払わずひばりテラスを活用できるプラウドシーズンひばりが丘にお住まいの方を羨ましく感じている。このギャップを解消してほしい。	30代
お餅付きがとても良かったです。年末年始家族が体調不良でお餅も用意できなかったのも、ありがたかったです。知識人から子どもの成長や育児に関する知識を得られる講座や、就学の準備について等学べる機会があると嬉しいです。	30代
フリーマーケットの開催、ドッグランの新設	40代
エリアマネジメント街区の中で、ひばりテラス 118 の近くでありながら戸建て住宅（プラウドシーズンひばりが丘ガーデンテラス）の方は正会員（まちにわ個人会員）となっていないことから、当該戸建て住宅の町内会の責任者の方にまちにわひばりが丘の正会員に加入頂けないか打診してみることは出来ないでしょうか？まちにわひばりが丘の活動をより充実させるための一助になるとともに、新規会員が増えることにより、人と人とのつながりを一層深めていくことができるのではないかと思います。	40代
参加の仕方がわからない	40代
・まちにわフェスなど、毎回同じ内容、出店者で開催があっても同じだから行かなくて良いかと思っている。 お年寄り、子供が多い地域だからこそ出来る事が他にもたくさんあるように感じる。 ・どこか、主催者周りの身内で楽しむようなイベントが多いと感じ、若い家族などが中々入って行けなと感じた。	40代
個人会員だが、特にスペースを借りる訳でもなく、ハコニワも全く空きがないようだし、少額とはいえ何のために払っているのだろう、と疑問に思うことがあります。	40代
子どもが大きくなったのでイベントには参加しづらくなりました。	40代
芝生で BBQ ができるようにしてほしい。夏は、手持ち花火ができるイベントなどして欲しいです。	40代
ひばりが丘に来て 7 年、子供も大きくなり、ママ同士の交流があまりなくなりました。地域の知り合いを作る場がなかなかなく、何かイベントがあっても既に出てくるグループに入るのが難しいです。今後、老後になった時に助け合う仲間がいないのが不安です。1 人でも参加しやすいイベントや企画があればいいと思います。	40代
子供と遊びに行くときに、ひばりヶ丘団地内はどことも蚊の対策をしていかなければ遊ぶことができない。各マンションごとに対策してもなので、まちにわさんで何とか出来ないでしょうか？	40代
昨年開催されたイベントをこのアンケートで初めて知ったものも多くありました。自ら情報を入手しにいかないとなかなか知ることは難しいんだなと思いました。SNS を確認してみました。イベントの情報が分かりづらく、いつどんなイベントが予定されて参加できそうかどうかなど、もっと明瞭にわかればいいなと思いました。	40代
一部の人の内輪受けのコミュニティになっているように感じられる。新規の人を受け入れる空気がない。正直 300 円払いたくない。無駄。	40代
引っ越してきたばかりなのでよくわからない、イベントなどもなかなか参加しにくい、知り合いもないので新しく越してきた人向けのなにかがあればいいなと思います	40代
本来コミュニティとしての機能をより強くしてゆべきだが、（防犯や今後の高齢化社会への対応、など）←他にもありますが浮かんでこないのがひばりが丘団地以外の地域ではどのような取組みをしているのか情報共有と連携を図ればより良いと思う。より良いアイデアが他地域との交流で得られる可能性があるため、団地内（エリア内）での活動も大事だけれど、他地域との交流も大事だと考える。	50代
防災、防犯等にも情報共有発信してほしい	50代
存在や活動内容を知らまい。（周知されてない気がする。）財源はどこから支出されているか、どのような形で参加できるか、どのような人が活動を支えているかなど、発信してほしい。	50代
一人暮らしの現役世代が気軽に参加できるイベントがみあたらない。もともと知り合いのいない人がまつりの実行委員などには参加がしにくいし、まつりを見に行っただけで知り合いが増えるわけでもない。ワークショップをもっと増やしてもらえた方が参加しやすい。	50代
UR に住んでいるが住民の年齢層が高くまた入れ替えも少ないと思われるのでほぼ「固定化」している。自治会等に頼らず、民間マンションと UR の新規住民で流れをつくれればいいと思うがむずかしいでしょう。	50代
知らないことがありそうなので、もっと利用しようと思う。	50代
まちにわひばりが丘の個人会員がよくわからない	50代
情報発信力やアピールにもっと力を入れるといいと思います。気が付きにくいことが多々あります。	50代
50 代の子どもがいない夫婦が参加するにはなかなか遠慮がちになってしまいます。若い家族の方中心かな？と思って...	50代

・まちにわの存在と継続的に活動を伝えるルートを確認して欲しい。広報発信力が、活動に加速させてくれると思います。 ・全てのマンションにまちにわの掲示板を設置して、情報発信してほしい〔1 番 2 番けやきは設置あり〕 紙面媒体の継続掲載とインスタと F B 登録 QR 掲載	6 0 代
ペットを飼っている人達との交流。ドッグランなどの開催	6 0 代
若い人を巻き込む必要あり	6 0 代
災害時の情報収集、情報発信の拠点として位置づけると良いのではないかと思います。そのためにイベント等には時間の許す限り参加していきたいと思う。	6 0 代
特に高齢者のための学ぶ場や交流の場をお願いします。	6 0 代
団地自治会と協働するようにお願いします。	6 0 代
イベントの時のキッチンカーの数を増やして価格も下げた方がいいと思う	6 0 代
介護を担っている者が繋がる集まりを、年 1〜2 回で良いので土日に開催してほしい。(平日開催されていることは知っているが、日程が合わない人もいるし、ワーキングケアラーの参加は難しい)	6 0 代
地域の安全について。ひばりテラス 118 の丁字型の交差点に信号機を設置できるよう公共機関に要請してもらえれば、と思います。歩行者、自転車などがいったん止まらず、横断歩道を通過することが多く危険と思います。	7 0 代
以前のようにもっと多くのキッチンカーに来ていただけたらうれしいです。	7 0 代
地域コミュニティ作りに一定の成果が出ていると思います。今後どの程度まで発展していくか見ていきます。	7 0 代
ひばりが丘団地に長く住んでいますが情報が少なくまちにわひばりが丘に対して分からない事が多いです。	7 0 代
いつも誰でもが気軽に立ち寄れる常設の軽食堂が在ればいい。	8 0 代以上
まちにわの活動頼もしく思います。桜まつり、夏祭り、秋の子供みこし等見て楽しんでいます。	8 0 代以上
PR が足りない	8 0 代以上

7. まとめ

以上、このレポートでは、ひばりが丘のエリアマネジメントの現状・課題・可能性に関するアンケート調査の結果を見ました。以下は、そのまとめです。

- ① 回答者の年齢は、新しく分譲された街区ほど若い世帯が多い傾向があります。分譲街区全体では 40 代が最も多く 4 割近くを占め、次いで 30 代、50 代が 2 割弱でした。6 0 代は 1 割強、7 0 代以上も約 1 割と高年齢の方も 2 割強みられます。UR では 80 代以上が最も多く、70 代と 80 代以上で約 5 割です。

家族構成は、分譲街区では「夫婦と未成年の子」が 6 割弱、「夫婦と成年の子」が 1 割で、「夫婦のみ」はおおよそ 2 割です。UR では「一人暮らし」が約 4 割、「夫婦のみ」が約 3 割で、「夫婦と未成年の子」は 2 割です。分譲街区では子育て世帯が大半を占める一方、UR では、「一人暮らし」や「夫婦のみ」が中心です。

- ② まちにわの存在と活動をともに「知っている」割合は分譲街区で 7 割強、UR では約 4 割です。一方、「存在は知っているが活動は知らないとの回答」は分譲で 1/4 弱、UR で 3 割、全体では 3 割弱でした。

まちにわの存在と活動をともに「知っている」回答者はが活動趣旨に賛同するかでは、分譲街区で 9 割以上、UR では 9 割弱が「賛同する」と回答しました。

- ③ イベントについて、この 1 年間にまちにわの関係するイベントに「参加したことがある」のは分譲で約 6 割、UR で 3 割強、全体ではおおよそ半数でした。

参加したことがない理由は全体では「関心はあったが日程などの都合で参加できなかった」が最も多く、次いで「開催を知っていたが関心がなかった」が多いです。UR では 1/4 が「開催を知らなかった」としています。

- ④ ひばりテラス 118 のこの一年間に自身や家族がひばりテラス 118 を利用したかでは、レンタルスペースは「利用者として申し込んで」の利用は約 5 %、「教室の生徒・イベントの参加者等として」は 15%でした。カフェは 4 割近く、フラワーショップは約 3 割、キッチンカーは約 4 割の人が利用したと回答しました。

ひばりテラス 118 がどういう場であると感じるか、また今後どういう場になってほしいかでは「交流の場」「憩いの場」という回答が多いです。

⑤ まちにわ ひばりが丘やひばりテラス 118 があることはマンション内よりも地域内の安心、防災防犯に役立つと思われており、約 7 割の回答者が役立つと思うとしています。まちにわの活動でより強化してほしいことでは、まつり等イベントの主催や、ひばりが丘団地エリア内のマンションと団地自治会の連携を上げる回答者が多いです。

⑥ 自由記述欄には、イベントに関する提案や活動への意見が多く寄せられました。

「フリーマーケット」「ペットを飼っている人との交流・ドッグラン」「手持ち花火」など、地域のつながりを意識したアイデアが挙げられました。

一方で、「まちにわの個人会員についてよくわからない」「参加の仕方がわからない」といった情報発信の不足を指摘する声もありました。また、「子どもが大きくなったので参加しづらい」「一部の人のコミュニティになっていて新しく入りづらい」といった、参加のハードルに関する意見も見受けられました。これらの声を踏まえ、誰もが気軽に関わられるような仕掛けや仕組みを整えていきたいと考えています。

<謝辞>

アンケート調査実施にあたりご多忙の中ご協力いただいた皆さま、誠にありがとうございました。貴重なご意見は今後のまちにわ ひばりが丘の活動にいかしてまいります。